

利用実績報告書（統計法（平成19年法律第53号）第34条関係）

年 月 日

独立行政法人  
統計センター理事長 殿

法人申出の場合、  
代表者名としてください。

所属及び職名 ○○大学○○学部准教授  
氏 名 統計 太郎  
連絡先所在地 123-4567  
東京都新宿区○○町001  
○○大学○○学部○○研究室  
連絡先電話番号 03-0000-0000  
連絡先e-mail toukeitarou@nstac.go.jp

委託申出書の最初の日付  
を記入ください。

令和●年●月●日付け依頼書により提供を受けた統計成果物による **学術研究（教育／事業）** が完了した  
ので、下記のとおり報告します。

記

1. 統計成果物の名称	就業構造基本調査（平成14、19、24年）
2. 統計成果物を利用して行った研究の 成果、教育内容又は 事業等の内容の概 要等	<p>(1) 統計成果物の内容 ※統計センターで案を作成します</p> <p>(2) 統計成果物を利用した研究の実施期間等 平成●年●月～令和△年△月</p> <p>(3) 統計成果物を利用して行った研究の成果等、教育内容又は事業等の内容の概要 ※ 記入しきれない場合は、別紙に記載し当該別紙を添付する。 統計成果物を用いて、若年層の雇用状況と就業形態に関する基本的な特徴について分析を行った。さらに、若年者の就業行動に影響を及ぼす社会的経済的要因を明らかにするために、世帯主の就業状態、世帯主の主な収入の種類、世帯人員別世帯数などを用いて分析を行った。その結果、以下のことが明らかとなった。 第一に、、、、 第二に、、、、</p> <p>(4) 統計成果物を利用して行った研究の成果等、教育内容又は事業等の内容の公表（統計法第34条第3項の規定により行う公表を除く） ・論文（名称：○○大学○○研究所研究彙報 時期 令和●年●月） ・報告書・書籍（名称： 時期 令和●年●月） ・学会・研究会等で発表（名称：統計関連学会連合大会 時期 令和●年●月） ・学会誌等に掲載（名称： 時期 令和●年●月） ・その他（ 時期 令和●年●月） ○ 上記の発表時期（※予定の場合その予定時期を記載） ※ 上記内容について、インターネット上に関連の掲載がある場合は、併せてリンク先を掲載すること。 リンク先 URL : <a href="http://www.~">http://www.~</a></p> <p>公表した研究の成果、教育内容等について、インターネット上などから一般的に入手できる場合は URL を記載してください。インターネット上などから入手できない場合は、発表資料や別刷の送付などをお願いします。 ※送付していただいた内容は、統計センターから受領した統計成果物とともに miripo(マイクロデータ利用ポータルサイト)の利用実績に公開されます。</p>

(5) 公表関係 (統計法第34条第3項の規定によるもの)	
公表事項	公表内容
学術雑誌に限らず、(4)に記載の公表方法について代表的な成果を記載してください。	〇〇大学〇〇研究所研究彙報 VolXX 時期 令和〇年〇月〇日
〇〇大学〇〇研究所研究彙報 VolXX 時期 令和〇年〇月〇日	※統計センターで案を作成します
〇〇大学〇〇研究所研究彙報 VolXX 時期 令和〇年〇月〇日	※統計センターで案を作成します
③ 統計又は統計的研究の成果について、掲載される学術雑誌等の名称及び掲載年月日	〇〇大学〇〇研究所研究彙報 VolXX 時期 令和〇年〇月〇日
※ 上記③は、(4)の公表のうち代表的なものかつ一般的に入手が困難でないものとする。 ※ 上記以外の公表事項の公表内容(統計若しくは統計的研究の成果又はその概要を除く。)は、特別の理由がない限り、依頼書(統計法(平成19年法律第53号)第34条関係)7の内容による。	
○ 統計若しくは統計的研究の成果又はその概要を公表するに当たって特別な事情等があれば下記に記載すること。 (令和〇年〇月に予定されている学会における発表終了後まで、非公開としていただきたい。)	
本報告書が提出されてから3か月以内に統計センターから受領した統計成果物とともにmiripoへ内容が公開されます。公開を何らかの事情で延期したい場合などがあれば、公表希望時期とともにその理由を記載してください。	

備考

- やむを得ない理由により研究等が中断した場合など「2. 統計成果物を利用して行った研究の成果、教育内容又は事業等の内容の概要等」が示せない場合は、該当欄に中断するまでに実施した内容等を示すとともに、結果を示せない理由を記載すること。
- 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。